四国まるごと
「食と健康」イノベーション
2010

～四国の研究機関が集い「食と健康」リソースを発信～

期間：平成22年8月25日（水）～10月16日（土）

共同事業

○国立大学法人徳島大学
○国立大学法人鳴門教育大学
○国立大学法人香川大学
○国立大学法人愛媛大学
○国立大学法人高知大学
○公立大学法人高知工科大学
○独立行政法人産業技術総合研究所
（四国センター、健康工学研究部門）

はじめに

はじめての試みとして、徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、高知工科大学、並びに独立行政法人産業技術総合研究所（以下「産総研」）の7つの研究機関は、共同事業「四国まるごと『食と健康』イノベーション2010」を実施します。

四国は古くから産業が栄えた地域のひとつです。「食」という意味では、温暖で海と山に囲まれた環境は多くの地域特産品を育み、個性ある「農林水産業」が発展して現在に引き継がれています。このような風土は、地域を特徴あるフィールドとしてとらえた農学、水産学、栄養学などに代表される多彩な研究を花開かせて多くの優秀な人材を輩出してきました。また、「健康」という意味では、近年、徳島、香川、愛媛、高知の4県とも生活習慣病の深刻さを踏まえ、地域が抱える課題をサイエンスの立場から解決していこうという動きを顕在化させています。

一方、急速に変容する経済社会のなか研究活動を取り巻く環境も大きく変化しています。例えばフルセット主義の終焉です。新たな時代に即した“従来型ではない”研究ネットワークや産学官連携の仕組みが求められているように感じます。「食と健康」分野において、特徴あるポテンシャルを有する大学や産総研の研究リソースを、素早く地域社会に還元するためにも、これら研究機関が連携し、弱みを補完し強みをより強化する、また、異なる学問領域の人材が交わることにより新たな概念の研究分野を創出する、そのような期待が高まっているのではないでしょうか。

今般、「食と健康」をテーマとして取り上げ、個々の研究機関の取り組みの成果が最大限に発揮できる新たな第一歩として、「四国まるごと『食と健康』イノベーション2010」を企画しました。内容的には、初年度でもあり、イベント活動の発信、シーズ集作成、技術相談コーナー特設、大学・産総研トップクラスのパネルディスカッションなどの取り組みからスタートしますが、皆様方のご理解とご協力をいただき、時代の変化に適応し、地域に貢献できる、四国サイズの「研究プラットフォーム」体制を構築する努力を継続して参ります。
どうか、今回の活動を通じ、大学や産総研のさまざまな活動に御理解とご協力をお願い申し上げます。

2010年8月吉日

国立大学法人徳島大学　理事・副学長　福井萬壽夫
国立大学法人鳴門教育大学　理事・副学長　西園芳信
国立大学法人香川大学　副学長　田港朝彦
国立大学法人愛媛大学　理事・副学長　泉　英二
国立大学法人高知大学　副学長　受田浩之
公立大学法人高知工科大学　副学長　瓜生敏之
独立行政法人産業技術総合研究所四国センター所長　三木啓司
〃　健康工学研究部門長　吉田康一